



バックナンバーはこちらから

議会だより

白川郷学園体育祭開催！！

5月30日(土) 白川郷学園体育祭が実施されました。昨年まで9月開催だった体育祭ですが熱中症対策のため5月開催に変更されました。天候にも恵まれ元気いっぱいの学園生徒のみなさんの勇姿を見せていただきました。学園ならではの前後期の子供達の絆が感じられる素晴らしい体育祭でした。

目次

contents

議決結果のツボを解く

臨時会 定例会 2

総務産業常任委員会審査報告 3

活動報告 4

一般質問 6

わたしたちの学園自慢！！ 12

白川村議会出張意見交換会の募集 12

議会傍聴案内（一般質問通告） 12

編集後記 12

臨時会 広報

令和8年第3回白川村議会臨時会は、令和8年5月22日(金)に開会し、工事請負契約の締結について慎重審議し、原案の通り可決しました。

1. 契約の目的：東海北陸自動車道4車線化事業 馬狩谷盛土場整備工事令和8年度 その1工事

契約金額 181,830千円

契約先 御母衣建設株式会社

2. 契約の目的：東海北陸自動車道4車線化事業 馬狩谷盛土場整備工事令和8年度 その2工事

契約金額 173,140千円

契約先 小坂建設株式会社

3. 契約の目的：東海北陸自動車道4車線化事業 馬狩谷盛土場整備工事令和8年度 その3工事

契約金額 177,100千円

契約先 丸正建設株式会社

※これらの工事は
ネクスコ中日本
からの受託事業
で行われます。



議会広報

第2回議会定例会は令和8年6月18日(木)から6月25日(木)の会期で開催し、条例改正・補正予算・委員の任命同意・村有財産の売却について慎重審議し、原案の通り可決しました。

議決結果のツボを解く

◆第2回議会定例会◆

◎人権擁護委員の推薦につき意見を求めること について

任期満了につき、水野慎治氏を人権擁護委員に推薦することに同意しました。

◎白川村農業委員の任命につき同意を求める ことについて

任期満了につき、推薦された農業委員全員の任命に同意しました。

◎白川村税条例の一部を改正

上位法の地方税法の改正に伴い改正するもの

◎白川村一般会計補正予算（一部抜粋）

- ・鳥獣被害対策事業 3,702千円増
熊被害防止のため熊ソニックを10基増設のため。
- ・学校関連施設等整備事業 25,700千円増
白川郷学園体育館空調設備工事について工事期間中の体育館使用を考慮し半面ずつ行う工程に変更したためと資材高騰により事業費が増額。

◎村有財産の売却について

旧白弓スキー場の村有土地（合計20601.12㎡）を小牧市の企業に売却。

◎白川村議会議員の請負の状況の公表に関する 条例の制定

議会発議により、議員個人による請負の状況の透明性を確保し、議会運営の公正及び事務の執行の適正を図るため条例を制定。

◎白川村議会会議規則の一部を改正する規則

議会発議により、議員活動と家庭生活の両立支援策をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として改正を行う。また、請願者の利便性を図るため所要の改正を行う。

※議員が出産のため出席できないときは、出産予定日の6週間前の日から出産の日後8週間を経過する日までに範囲内において、期間をあきらかにして、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。

※請願書には署名又は押印しなければならないとし、押印を省略することができる。

令和8年 第3回・第4回

総務産業 常任委員会 審査報告

委員長 大田 忠広

○令和8年5月22日(金) 第3回 委員会審査が行われました。

Q

森の食彩館白真弓周辺用地売却について

A

令和7年2月20日に企業版ふるさと納税1億円の寄付と森林づくり協定を締結した愛知県小牧市に本社を置く企業へ森の食彩館白真弓周辺用地等について今回議会決議いただいた用地売却価格で交渉を行います。木谷地区10世帯対象の事業説明会も6月3日(水)に開催いたします。

Q

予冷庫建設に伴う飛騨農協所有土地の購入について

A

白川村産米ブランド化を図るため、安定供給体制の基盤となる予冷庫の整備と合わせて隣接する土地と建物を一体的に買収します。建設予定場所は(有)サンフラワー事務所横で、土地4筆と建物4棟合わせて今回議会決議いただいた上限単価内で交渉を行います。



Q

新庁舎建設に伴う建設用地購入について

A

新庁舎建設に伴う建設用地について、議会決議いただいた上限単価内で交渉を行います。



森の食彩館白真弓

○令和8年6月18日(木) 第4回 委員会審査が行われました。

Q

白川村新型インフルエンザ等対策行動計画の改訂について

A

新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえ、迅速な対応、関係機関との情報共有、地域の実情に応じた柔軟な対応を基本的な考えとして改訂したので報告します。感染症発生時に職員が分かりやすく活用できるよう「準備期」「初動期」「対応期」の3段階に整理し各課の役割分担や優先業務を明確化しました。

Q

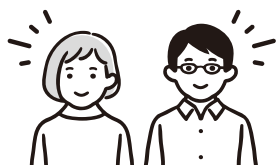
平瀬区川原町地内住宅の活用について

A

平瀬区川原町地内に相続放棄された空家があります。建物の状態が良いため、今後の移住促進施策の一環として活用するため、相続財産清算人選任の申立を行ないたい。



新庁舎外観イメージ



Q

新庁舎建設用地購入単価について

A

地権者と新庁舎建設用地の単価協議を行った結果、前回決議された上限単価内で地権者の承諾が得られました。

4月活動報告

日にち	議会議員	正副議長 (議長:森崎敏克 副議長:宮部俊典)	総務産業常任委員会委員長 (大田忠広)	監査委員 (川田一浩)
8日(水)		飛騨市正副議長就任訪問 (正副議長)		
9日(木)			白川郷学園入学式 (総務産業委員長)	
16日(木)	東京陳情活動			
17日(金)	東京陳情活動			
22日(水)	高山市関係施設視察			
24日(金)				例月出納検査

5月活動報告

日にち	議会議員	正副議長 (議長:森崎敏克 副議長:宮部俊典)	総務産業常任委員会委員長 (大田忠広)	監査委員 (川田一浩)
13日(水)		下呂市正副議長訪問 (正副議長)		
14日(木)		高山市正副議長訪問 (正副議長)		
20日(水)				例月出納検査
21日(木)		沖縄県中部地区町村議会議長会 行政視察(副議長)		
22日(金)	第3回議会臨時会・ 第3回総務産業常任委員会	白川村商工会通常総会(議長)		
25日(月)		中部縦貫・北陸関東広域建設 促進同盟会(議長)		
26日(火)		飛騨地域基盤整備促進期成同盟会 及び神通川水系砂防促進協力会 (議長・総務委員長) 全国町村議会議長・副議長研修会(副議長)	飛騨地域基盤整備促進期成同盟会 及び神通川水系砂防促進協力会 (議長・総務委員長)	
27日(水)			観光協会定時総会 (総務委員長)	
28日(木)	NEXCO東海北陸4車線化報告会 定例議員懇談会			
29日(金)		観光協会定時総会(議長)		
30日(土)	白川郷学園体育祭			

6月活動報告

日にち	議会議員	正副議長 (議長:森崎敏克 副議長:宮部俊典)	総務産業常任委員会委員長 (大田忠広)	監査委員 (川田一浩)
1日(月)	県北西部地域医療ネット社員総会 (坂本議員)	岐阜県町村議会議長会評議 委員会(議長)		
5日(金)	第2回議会運営委員会			
12日(金)		白山白川郷ホワイトロード 開通式典(議長)		
14日(日)	村消防操法大会			
18日(木)	第2回議会定例会(初日) 第4回総務産業常任委員会 第2回広報委員会			
22日(月)				例月出納検査
25日(木)	第2回議会定例会(最終日)			

議会活動スナップ



●若井あつこ参議院議員陳情活動(4月17日)



●渡辺猛之参議院議員陳情活動(4月17日)



●渡辺猛之参議院議員陳情活動



●高橋総務副大臣陳情活動(4月17日)



●高橋総務副大臣陳情活動



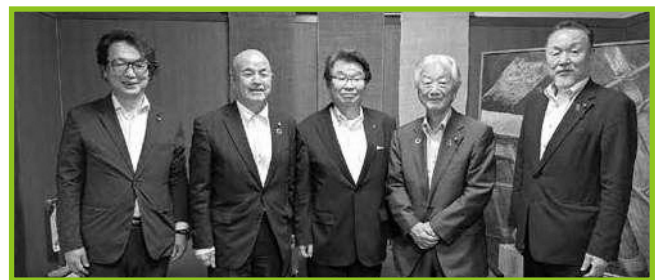
●高山市新ゴミ処理施設視察(4月22日)



●六蔵最終処分場計画地現地視察(4月22日)



●高山市消防本部通信司令システム視察(4月22日)



●高山市正副議長訪問(5月14日)



●東海北陸道4車線化報告会(5月18日)



●沖縄県中部地区町村議会議長会視察受入(5月21日)

定例会 一般 質問

村政を問う



ナフサ不足は
村政にどのような
影響を及ぼすのか？

坂本 正代 議員



Q

イラン情勢の悪化によるナフサ不足関連報道では、多くの製品や資材が1・5倍から2倍の値上げ要請があり供給不足にも直面していると聞きます。白川村の医療・教育・福祉などの政策にはどのような影響があるのか？ナフサ不足の実態状況はどうか、実例と対応をお聞かせください。

A

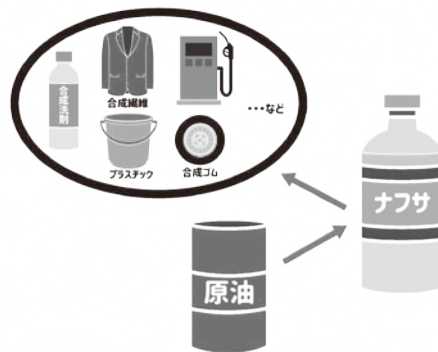
中東情勢の緊迫化や国際的なエネルギー需給の変化により、原油・各種資材価格の高騰や供給不足が、村政運営や住民生活に与える影響を注視しているところです。本年4月1日緊急会議を開催し、情報共有・想定されるリスクの洗い出しを実施し協議を進め、経費削減と業務効率化を図っております。住民生活に直結するゴミ袋については、価格上昇を見込み必要枚数を確保した上で契約を締結し9月下旬から10月上旬に納品予定となりました。引き続き情勢を注視しながら危機管理の視点をもって対応してまいります。

(成原総務課長)

A

診療所では診察や処置、薬の処方に支障を来すような大きな影響は生じておりません。手袋につきましては約1年分のストックがあり当面の購入は要しない状況ですが、納入業者からは6月納品分から2割程度の値上げの説明を受けました。今後も情報収集に努めるとともに国や関係機関の方針に基づき適切に対応してまいります。

(小坂診療所事務長)



A

教育への影響としては、体育館の空調整備に関わる資材調達と価格上昇です。補正により増額計上をいたしました。資材調達時期については現時点で不明確であり、次年度への事業繰越も視野にいたした執行を考えております。給食関係では、消耗品の早目のストックを進め、教材も早目の発注を進めており現時点では大きな影響はありません。県の福祉部から歯科検診に必要な非滅菌手袋も年度初めに県内学校に配布され、学校で保管している状況です。

(新谷教育委員会事務局長)

議員のひと言

「村民の安心・安全な暮らしを考えながらみんなで創る村づくり」

白川郷茅場 (ふるさと文化財の森)の 保存と継承について

大田 貢 議員



Q

「ふるさと文化財の森」に白川村の茅場が選定されたが、合掌造りの保存修理に必要な茅・カリヤスの安定保存をどう考えているか？

A

世界遺産を次世代へ継承するため、地域主体による自給体制の強化が急務です。今後は「ふるさと文化財の森」に設定されている他地域（29地域）とのネットワークを通じて情報交換を行い、自給体制の強化を図ります。

(尾崎教育委員会主幹)



Q

茅刈り職人の技術継承・育成に向けた対策は？

A

職人が年間を通じて安定した生計が立てられるよう、茅刈りの雇用だけでなく、茅場の肥培管理や休耕田の復旧などを組み合わせ、安定的に従事できる就労環境の構築を関係機関と連携して検討します。

(尾崎教育委員会主幹)

Q

国庫補助を活用した具体的な対策は？

A

下草刈りや藤蔓の駆除などの経費として国庫補助金の獲得を図ります。ただし、補助金は「自走」に向けた伴走型の支援であるため、過度に依存せず、地域主体による持続可能な自給体制の確立を急ぎます。

(尾崎教育委員会主幹)

白川郷学園における部活動の地域移行と安全対策について

Q

部活動の地域移行に向けた、白川郷学園の現状と課題は？

A

現在は、4団体の部活動があります。地域展開にあたっては、生徒の安全確保、保護者の負担軽減、指導者の確保などが課題です。今後は、安心安全なクラブを教育委員会が認める「地域クラブ認定制度」の導入や、現在の部活動に近い助成ができるような仕組みづくりを段階的に進めます。

(新谷教育委員会事務局長)

Q

部活動の送迎に関する安全対策や保護者負担は？

A

送迎は事業者へ業務委託しており、安全に運行されています。なお、車両費はすべて村が負担しているため、保護者の費用負担はありません。

(新谷教育委員会事務局長)



議員のひと言 「自分の城は自分で守る」

村民への給付制度の 拡充施策について

川田 一浩 議員



Q

地域限定の商品券は、利用される店が偏っており、上位10事業所のうち5つは「村外に本店がある事業者」というのが現実です。換金率は99%と高いものの、真に村内全体の経済効果に繋がったかの検証が必要です。香川県さぬき市の現金給付（1万3千円）の事例のように、マイナポータルを活用した「現金給付」も選択肢に加え、住民の要望に応えられるようにすべきでは？村の考えを伺います。

A

国の動向によって、生活支援の方法そのものが変化する可能性があります。マイナポータルについては、多角的に使える自治体アプリの導入検討や、国主導による迅速な給付システムの構築を要望していただく必要があります。地域商品券の課題や他自治体の事例も参考にしつつ、村議会の意見を伺いながら、より効果的な給付のあり方を継続的に検討してまいります。

（近藤会計管理者兼財政課長）

Q

過去に数回商品券の配布を行って
いるが、消費者ニーズといった事
業評価の検証はされたのか？

A

行っていません。他の自治体の事例を参考
にしながら対応を考えて行きたい。住民か
ら現金給付の声は聞いています。

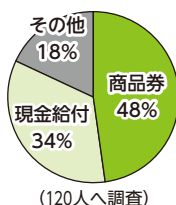
（近藤会計管理者兼財政課長）



Q

住民120人への独自調査を行いました。結果は表のとおりです。傾向的には、小中学生保護者は体操服の購入で助かった。冬の灯油代や燃料費に利用されるケースが多かった。買い物弱者の方では、移動販売車での買い物利用がされ弱者支援には繋がっている。他方、乳幼児育児世帯や子育てから解放された5、60代の方では、現金給付を望む声も多い。その他としてもっと別のことに使うべきでは？本当に村内での経済循環に繋がっているか？と疑問視される声もありました。私の提案としては、今後も商品券を発行するのであれば、村外に事業所を置く店で使える利用限度額（上限）を設けてはどうかと思っています。

給付方法について
村民アンケート結果



A

そもそもこの臨時交付金については、国の施策として物価高騰対応緊急対策として国民の生活支援を目的としています。商品券の配布については主に経済的に弱い方々に、まずは生活の基盤である食料、燃料に対する支援をするという意味で最も効果的であるということで選択させていただきました。

（近藤会計管理者兼財政課長）

Q

交付金の趣旨は理解しているが、3割以上の方が現金給付を求める傾向があるので試験的にでも現金で支給してみてもどうかと思います。今後、議論を深めていきたい。

酒蔵の建設支援の実態と酒米の生産供給について

Q

白川の酒蔵に係る総額はどれくらいの規模となっているのか、
全体的な村の補助金スキームについて教えてください。

A

当初は15億円でしたが、資材、物価高騰により16億を超える規模になります。村の支出額となる補助金は9億円で、その内国の補助金が4.5億、全額がふるさと納税財源の新産業応援基金から同額の4.5億円です。

（高島産業課長）

Q

お酒の原材料を地元産に拘り本物の市場流通展開を図るのであれば、新たに作付して頂く農業者を増やすための何らかの支援も必要になってくるのではないかと、今後の酒米の生産体制の展望についてお考えをお聞かせください。

A

1反でも5畝でも作付けする農家を増やすことが必要だと思います。安定的に高価格で取引可能な山田錦の作付けについて、農家への普及啓発を強化して参ります。

（高島産業課長）

Q

現在、予定人員の従業員の確保には至ってはいないとお聞きします。継続的な募集の必要性もあると思いますが、村としてのその対応についてお聞かせください。

A

引き続き、村出身者のUターン採用を最優先し、帰省時期に合わせて村内での就職説明会を開催して頂く予定となっていますし、村としても出来る限り伴奏支援して参ります。

（高島産業課長）

Q

酒米生産者が増えるように、農家への助成や支援を図って頂きたい。

議員のひと言 「肌感でなく 広く村民の声に耳を傾け、謙虚に学び得る議員でありたい」

在宅高齢者の見守り ネットワークの構築について

平田 律代 議員



Q

全国的に高齢化の進展により認知症高齢者の増加が社会的課題となっています。特に「在宅で過ごす高齢者」の安全確保は喫緊の課題です。認知症の方が外出し、行方不明になるという事例も後を絶ちません。そこで認知症高齢者の事故や事件を未然に防ぐため「地域見守りネットワーク」の構築を提案します。地域力を活かしながら、個人情報保護法やご本人の尊厳を十分に配慮したうえで、顔の見える「最強の見守り体制」を重要施策として位置づけ「日本一安心な村」への道筋として頂きたい。

A

現在、毎月1回開催している地域ケア会議や、民生委員、社協、介護事業所、警察、消防等の既存の連携を活かし、在宅高齢者の見守りを進めます。個人情報の取り扱いに配慮しながら、ご家族が抱え込まず早めに相談できる体制作りと認知症を正しく理解するための啓発活動を進めたいと考えております。

(吉寛村民課長)



平田撮影

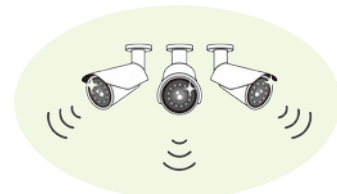
Q

防犯カメラの設置についても予算建てをして頂きたい。

A

カメラについては助成制度という形で検討していきたいと考えております。

(成原総務課長)



平田撮影

A

総括として、高齢世帯、介護世帯が増加する中、行政や社協などが非常に努力しておりますが、限界も感じております。ご家族が家庭内のことと抱え込んでしまい情報開示がなされないという風潮が存在していることも課題として捉えています。啓蒙活動により、ご家族からの情報開示がなされれば、地域全体で高齢者を見守る体制が強固なものとなります。今後も真剣に取り組むべき問題だと思っております。

(成原村長)

議員のひと言 「郵便や新聞受けも見守りて 変わらぬ日々にとっと目を編む」

防犯カメラの設置について

大田 忠広 議員



Q

最近はクマの出没や事件・事故の対策として、個人で防犯カメラを設置する住民が増えていきます。犯罪やクマ被害を未然に防ぐためにも、事前の備えが重要です。行政での一括管理が難しいのであれば、防犯協力の観点から、個人でカメラを設置する住民に対して支援制度を設けてはいかがでしょうか？

A

本村では、維持管理費や機器更新などのランニングコストの面から、行政主導による一律の設置拡大には慎重な姿勢をとってきました。しかし、地域防犯力の向上には住民の皆様との協力が不可欠です。他自治体の事例や費用対効果を調査し、区と、個人向け補助制度の可能性についても研究・検討してまいります。

(成原総務課長)

消防団員の減少について

Q

全国的な少子高齢化や人手不足の中、当村でも消防団員が減少しています。令和8年の消防操法大会は出場が全6チームとなり、昨年に続き午前中のみの開催となりました。団員減少の背景には、大会に向けた練習負担や高齢化、若年層の入団不足があります。近隣の飛騨市や高山市のように、時代に合わせて大会や訓練のあり方を変えていく必要があると考えますが、村の考えをお聞かせください。

A

就業形態や生活様式の多様化により、全国的に団員確保は厳しい状況にあります。消防団員の減少は高齢化、若年層の入団不足、仕事と家庭の両立の難しさなど、複数の要因が重なり合っているものと認識しております。操法大会に対する団員の意見についても様々で、ある分団では、「大会という明確な目標があるからこそ、選手だけでなく周囲の団員も協力し、忙しい中でも練習に参加している。目的が見えにくい訓練になった場合、団員の参加意欲を維持できるか疑問であり、大会は残してほしい」といった意見が出されていると伺っております。近隣の事例も参考にしながら、団員の意見を尊重し、消防団幹部と連携して操法大会のあり方の検討を進めていきます。団員が誇りとやりがいを持って活動できる環境を整え、持続可能な体制を確保します。

(成原総務課長)



議員の一言 「安心安全な村作りの為に。」

熊対策問題について

宮部 俊典 議員



Q

熊問題は全国的な問題となり、村では現在熊ソニックを設置し効果検証中ではありますが、あれば安心・安全の考え方は危険であり、人と獣の棲み分けの緩衝地帯の拡大や自己防衛意識向上の啓発を促して頂きたい。熊ソニックについてお尋ねします。高周波の音に獣が慣れてしまうことはないのか？

A

議員ご指摘のとおり、被害を防ぐため単一的な対策だけではなく複数の対策の必要があり、熊ソニック、誘因木除去、人と獣の棲み分けの緩衝地帯整備等、村民及び観光客が被害にあわないように取り組んで参ります。熊ソニックは高周波帯の中でランダムに周波数を変えて、音に慣れることも防いでいるとのことであります。

(高島産業課長)



シビックプライドの推進について

Q

観光業を生業にしている人と関与していない人の観光客の受け入れ意識が大きく異なっている事や、地域コミュニティの衰退や人間関係の希薄化が進行していると考えます。観光業に携わる人だけではなく、村民全体がシビックプライドの意識のもと観光客の入込みに乗じて駐車料金を財源として村民全員に還元できるシステムの構築が必要となると考えます。

A

議員が提案された駐車料金を原資として村民に還元するアイデアは「観光の負担を強いられている村民皆様に報いたい、豊かさを分かちあいたい」という事だと思いますが、お金による還元が村民にもたらす影響について慎重に考える必要があると思います。議員が目指される「村民全員が観光を歓迎できる仕組」というゴールは村も同じであります。村民の皆様が感じる日々のストレスを根本から解決する事へ重点的に投資する事で村民の暮らしを守り、「白川村に住んで良かった」という誇りに繋がると考えております。

(古田観光振興課長)

白川村過疎地域持続的発展計画書について

Q

計画書が本年度更新されましたが、大窪沼園地整備事業の実施や公共施設のWi-Fi環境整備の進捗状況、計画書の前期後期の現状と問題点が殆ど同じで、取り組んだ成果や対策も必要と考えます。

A

大窪沼園地整備事業につきましては、他事業と比較し優先度が低い事業として先送りさせて頂いております。公共施設Wi-Fi環境事業に関しても近年の通信環境の向上やモバイルWi-Fiの普及が進行しており費用対効果の観点から縮小しており、各公民館等についても整備を行なわない方針で進めています。計画書の問題点の成果や対策の必要性については議員の仰せのとおり必要であり、不可欠であると認識しておりますが成果等については計画最終年令和12年において実施し、その後の過疎計画書に活かしていくものと考えております。

(近藤会計管理者 兼 財政課長)

議員のひと言 「村の未来のために あわてず、あせらず、あきらめず」



わたしたちの学園自慢!!

第1回



今回は学園9年生の皆さんに「学園自慢」をお願いしたところ、たくさんの自慢が集まりました。2回に分けてお届けいたします。楽しんで読んでいただけると嬉しいです。

僕の学園の自慢は学年関係なく仲が良いことです。理由は結クラスweekなど1～9年生の仲が深まることで休み時間に仲良く遊ぶことができたり1年生が安心して生活したり学年内に限らず他学年と話すことができることで学校での楽しみが増えたり他学年の良さを取り入れたりすることで学園がよりよくなると思うからです。

新谷 純平さん

①年齢差があっても仲が良い
普段関わりは少なくとも結クラスがあったり、挨拶周りをすることで話したりハイタッチしたりして仲を深めることができます。結クラスでは給食や掃除、朝・帰りの会を一緒にすることで仲を深めると共に、全員が成長できる。

②自由度が高い（と思う）

LP（リーダープロジェクト）では軸はありつつも、自分たちで考えて新しいことに挑戦できるし、お金が必要な場合は補助が出たりもする。宿泊研修や村民学も充実していて、色々なことが学べる。

伊藤 千輝さん

小中一貫校⇒結クラスといって、小学1年生から中学3年生までで作られたクラスがある。⇒そのクラスで遊んだり遠足といったものがあるため全校みんなが学年関係なく楽しむことができる。⇒また、結クラスウィークと言って、授業以外の全ての時間を結クラスで過ごすという1週間がある。これを行う事によって掃除の時間などは1～2年生は上級生に教えてもらいながらやることによってそうじの時間などは1～2年生は上級生に教えてもらいながらやる事によって結クラスウィークでしか学べない、知らない出会いがある。

大塚 侑斗さん

白川郷学園の自慢は自由度がとても高い所です。なぜなら今年からはじまったパワーアップタイムの探究学習でそれぞれの好きな事を見つめ合ってみる時間があったり、村民文化祭や10周年記念で型にはまらない物を目指しているなど、自由度が高い所が良さだと思います。

柴原 千嘉さん

①学年関係なくみんな仲が良いところ
あまり関わることがない学年でも結クラスがあることで1人1人とたくさん仲を深めることができ、毎日学校に行くのが楽しみになる。

②したいことができること

LPなどで、したい活動があったときに「こんな活動がしたい！」でお知らせし、したいことが形になるところが私が思う学園の自慢です。

鈴口 祐生さん



白川村議会出張意見交換会の募集

～これからの白川村を一緒に考えましょう～

村民皆様の思いを村政に反映させるため、「白川村議会出張意見交換会」を開催します。皆様が日頃お困りの課題や白川村の未来への思いを白川村議会と考えませんか？村民の任意グループ、団体、保護者の集い、趣味の会、自治会、青年会、女性会など各種団体からお申し込みいただければ議会が出向いてお話を伺います。

村の未来のために、
たくさんのご応募を
お待ちしております!!

申込方法

開催希望日の1月前に白川村議会事務局（6-1311）までお電話ください。

お申し込みに留意いただきたいこと

村に対する単なる要望や苦情ではなく、建設的な意見交換の場となるようお申し込み時に意見交換のテーマ（人手不足、移住定住促進、観光振興、教育問題、6次産業化等）をお伺いします。

議会傍聴案内

議会定例会（3月・6月・9月・12月）や、臨時議会は傍聴することができます。

定例議会の開会時間は、4月から11月が午前9時、12月から3月が午前10時からです。

傍聴される方は、開会時間15分前までに総務課までお申し出ください。

次回、9月議会定例会の議事日程運営は、9月上旬に白川村議会ホームページで確認することができます。また、一般質問通告の題目についても掲載しています。ご確認の上、ぜひ村づくりの議論を傍聴くださいますようお願いいたします。

白川村議会ホームページは
こちらからご覧いただけます。



編集
後記

田植えが終わり、こんなにも沢山の緑色があると改めて景色を眺めるこの頃です。梅雨の時期は体調管理にも気を使います。疲れたなぁと思われたら、ちょっと手を休めて深呼吸、周りの美しい景色に癒されてみるのもいいですね。

平田 律代